

科研費をはじめとする日本学術振興会事業について

- 競争的資金を獲得するチャンスを見逃していませんか? -

“Kakenhi” Grants-in Aid for Scientific Research and Other Programs of JSPS

- Are you missing the opportunity for getting competitive research fund? -

宮 嶋 和 男

Miyajima Kazuo

はじめに

科学技術基本計画が策定されたことにより、科学技術・学術の振興に理解が深まり、また、関係者のご尽力で、毎年、科学技術関係経費の充実が図られてきていることは大変喜ばしいことです。ちなみに、我が国の科学技術関係経費は約 3.6 兆円であり、このうち競争的資金は 4,800 億円となっています。

このような背景のなか、近年、種々の大型研究プロジェクトの推進が可能となってきましたが、一方、大学の現場からは、研究費や国際交流経費等が足りない、との悲痛な声も聞こえています。

このような状況をふまえ、大学をめぐる競争的資金の概要の紹介と科研費をはじめとする日本学術振興会事業について、最近の制度改善状況等を含め説明し、少しでもお役立ていただける情報を提供したいと思っています。以下、本会の代表的事業の概要を説明いたします。

科学研究費補助金

まず、研究者支援事業としては、競争的研究資金の代表である科学研究費補助金（平成 20 年度 1,932 億円）があります。この研究費は、基礎から応用までの独創的・先駆的な学術研究を支援しており、特徴は、研究者の自由な発想に基づく基礎研究を、人文・社会科学から自然科学まですべての研究分野にわたって対象としていることです。審査は、ピアレビューによる公正で透明性の高い審査・評価システム（審査員：約 5,000 人）により実施しております。

研究者の立場にたって、研究の目的・内容に応じて基盤研究等の研究種目を設けています。経費についても、研究計画遂行上必要な場合は可能な限り研究費の用途を制限しない柔軟な執行を可能としています。例えば、研究の進展に応じた使用経費の弾力的変更や年度の繰越しも可能です。

特別研究員

人材育成事業としては、「特別研究員」があります。この事業は、研究者養成の中核を担うもので、優秀な若手研究者を 2~3 年間、特別研究員として採用し、自由な環境で自立した研究が行えるよう研究奨励金と研究費を支給するもので、平成 20 年度は約 5,600 人（新規採択者数：約 2,300 人）を採用しています。採用の種類としては、大学院博士課程在学者を対象とする特別研究員 - DC，同修了者を対象とする特別研究員 - PD，SPD，出産・育児からの復帰支援を対象とする RPD があります。また、「海外特別研究員」は、若手研究者を対象として、学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を育成するため 2 年間海外における大学等において研究に専念させる制度です。

国際交流事業など

国際交流事業としては、若手研究者に国際的な研鑽を積んでもらう観点から、「若手研究者（独）日本学術振興会 審議役（学術システム研究センター担当）Administrative Advisor（JSPS）

キーワード：日本学術振興会，科学研究費補助金

国際的な「国際的に評価の高い研究の推進」を目指す。また、研究拠点形成の観点から、「先端研究拠点事業 (Core-to-Core)」等があります。この他、外国人研究者を日本に招聘する事業や日本人研究者を国際会議に派遣したり、日本で国際会議を開催するための事業もあります。

加えて、グローバル COE、大学院教育改革支援プログラム、教育 GP 等の大学改革の支援にかかる事業や世界トップレベル研究拠点プログラムなどの審査・評価も担っています。

学術システム研究センター

このような本会の事業を効果的・効率的に遂行するには、研究者の目線で問題点を捉え運営することがきわめて重要であると考えています。このため、本会には、学術システム研究センターが設置されています。

本研究センターは、所長（戸塚洋二先生）以下 115 名の研究員で構成され、人文・社会科学から自然科学の全分野を 9 つの専門調査班でカバーしています。研究員には、研究の第一線にある研究者を一定期間（3 年間）お迎えしており、研究の現場・学界での仕事を継続しながら、いわば、肌で感じる学術動向をふまえて、科研費や特別研究員をはじめとする学術振興会の各種事業に参画いただいております。大学や学界での活動をとおして把握した学術動向をふまえて、提言・助言等を行い、本会の事業全般にわたって公平・公正で透明性の高い審査・評価システムの構築等に尽力しています。

おわりに

日本学術振興会は、公平で公正な審査・評価をつうじて、大学等における、学術研究、人材養成、国際交流等の事業を支援しています。これらの事業は、研究者コミュニティ、大学等研究機関の方々、文科省 & 日本学術振興会の 3 者で支えているといっても過言ではありません。

今後とも、より身近で、世界に誇れるファンディング・エージェンシーとなるよう頑張っ

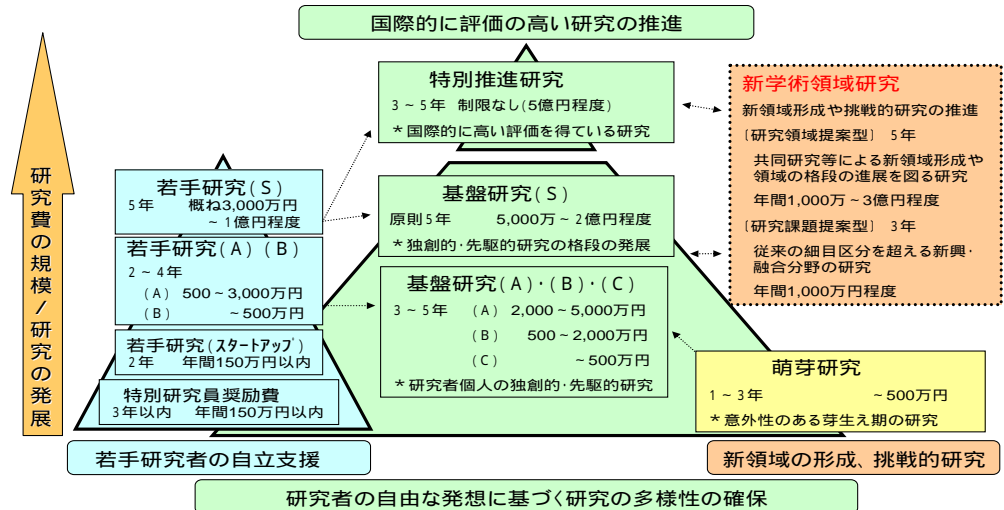


図 1 科研費の概要

表 1 特別研究員の種別

DC-1	大学院博士課程在学者
DC-2	大学院博士課程在学者
PD	大学院博士課程修了者等
SPD	大学院博士課程修了者
RPD	大学院博士課程修了者等 採用の前年度の 4 月 1 日から遡って過去 5 年以内に、出産又は子の養育のため、概ね 3 ヶ月以上やむを得ず研究活動を中断した者。